

以下バイナリファイルは SL-C760 での動作を確認しています。

リンク

ザウルスソフト開発サポート

Ruby/Qt 普及委員会

Qtopia 事始め

Qt Reference Document

J2ME で遊ぶ

ターミナルの emacs でクリップボードを使う

NetFront などブラウザした内容をちょっとターミナル上の emacs にコピーしたくなることがある。

特にわたしは、メーラーとして wanderlust を使っていることもあってそんな機会が多い。

通常 Fn-v でペースとできるのだが ?C-v として動作してしまっていて、希望する動作はしてくれない。

なんかうまく設定があるのかもしれないけど、とりあえず次のようにすることに。

クリップボードの文字列を表示する Ruby/Qt スクリプト

```
#!/usr/bin/env ruby
require 'qte'
include Qte
a = QApplication.new([$0]+ARGV)
cv = QApplication::clipboard
codec = QTextCodec.codecForName('eucJP')
print codec.fromUnicode(cb.text).to_str
```

emacs から「M-x insert-clip-board」として呼び出せるように
上のスクリプトを ~/lib/ruby/clip.rb として保存し、実行権限を与える。

```
(defun insert-clip-board ()
  (interactive)
  (call-process " /lib/ruby/clip.rb" nil t))
```

標準エラー出力も一緒に出力されてしまうので、ちょっとうざい。

real-destination の使い方がよくわからない。

そして、Ruby/Qt だし、毎回起動するので遅い。

C++ ネイティブ版

ネイティブアプリケーションにしてみた、警告でまくりで、困るけど。

ちなみに emacs のコーディングシステムは euc-jp と限定している。

普通、sjis で使っているのかなあ？

~/lib/bin/clip としておいておいて

```
(defun insert-clip-board ()
  (interactive)
  (call-process " /lib/bin/clip" nil t))
```

選択した部分をクリップボードにコピーする

clipout を ~/lib/bin/clipout などとしてコピーして、

```
(defun copy-region-clip-board (beg end)
  (interactive "r")
  (copy-region-as-kill beg end)
  (call-process-region beg end " /lib/bin/clipout" nil nil)
)
(global-set-key "?M-w" 'copy-region-clip-board)
```

これで、?M-w で選択した部分を emacs の kill-ring に保存するとともに、クリップボードにも保存できる。

gauche

gauche をコンパイルしてみました
コンパイルするホスト上で

```
% CC=arm-linux-gcc AR=arm-linux-ar ./configure
```

make すると途中で失敗しますが、無視してできあがった gosh や libgosh.so と、関連する scm ファイルつまり gauche-init.scm と、lib 以下を適当な場所にコピーします。
ext 以下をもってきてないですが、ちょっとしたことはできそうです。

usbnet

kernel が古いときは usbnet.c を下のように新しくする。
少なくとも 2.4.26 では不要。以下のファイルは 2.4.22 より
必要なファイルを用意して、

```
% make
% insmod ./usbnet.o
```

もし、usbnet がすでにくみ込まれているときは

```
% rmmod ./usbnet
```

とかする

modules.usbmap の更新

gentoo の kernel-2.4.26 の場合、usbnet.c にエントリは SL-C760 のコードはあるのに、
modules.usbmap にエントリがないので接続しても認識してくれなかった

```
usbnet 0x0383 0x04dd 0x9031 0x0000 0x0000 0x00 0x00 0x00 0x02 0x0a 0x00 0x00003b40
```

ので、こんな感じで追加

ifconfig

```
%ifconfig usb0 192.168.129.10
```

とかして usb0 のアドレスを決定

telnetd

zaurus で telnetd を動かします。

/etc/inetd.conf の TCP wrapper を使う方のコメントをはずす

hosts.allow, hosts.deny

いつもの通りの TCP Wrapper の設定。適当に

hosts.allow

```
ALL:192.168.129.
```

hosts.deny

```
ALL:ALL
```

あとは、inetd をリスタートする。

ところで、私の zaurus では inetd 経由で sshd が動くようになっていたのですが、実は、グローバルから誰でも入れるようになっていました ... こえ~
別に sshd はいらないので、とりあえず inetd.conf の該当箇所をコメントアウト。